

2025年度図書館企画



Recommended Books

教職員より学生へ贈る 「おすすめ本」 一覧 (ご推薦者名順)



朝田 郁 先生

おすすめ！

『野菜の垂直仕立て栽培』 道法 正徳 監修



つくろうよ畑(部)！

朝田 郁 先生

おすすめ！

『岩田さん ：岩田聡はこんなことを話していた』 ほぼ日刊イトイ新聞 編



言葉のごほうび

井上 好人 先生

おすすめ！

『ホワイトアウト』

真保 裕一 著

予 約 ↓



映画「ダイハード」を彷彿させるような
日本版アクションサスペンス。

山岳＋テロリスト＋普通の人＝ヒーローとなる、
の相乗効果で徹夜本となりました。

井上 好人 先生

おすすめ！

『マリアビートル』

伊坂 幸太郎 著



東北新幹線の車中が舞台の
ノンストップ・エンターテインメント。

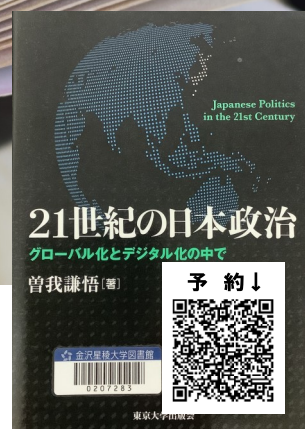
とにかく面白い！

少年の「悪」について考えさせられます。

大畠 菜穂子 先生

おすすめ！

『21世紀の日本政治 ：グローバル化とデジタル化の中で』 曾我 謙悟 著



なぜ日本はこうなってしまったのか？

「原因は政治にあるが、政治は悪くない」

と筆者はいう。

私たちの未来を考えるための一冊。

木村 正信 先生

おすすめ！

『赤朽葉家の伝説』 桜庭 一樹 著



小説の第一部のなかで世の中の移り変わるとき、

時代の代表曲の詩、ザピーナッツの恋のバカンスや、

ビートルズのイマジンを象徴的に示され、ストーリーと

てらし合わせると切ない気持ちになった。

一応、推理小説らしい。

小松崎 保 さん

おすすめ！

『自分に嫌われない生き方』

谷口 たかひさ 著

自分に
嫌われない
生き方

谷口たかひさ



予約↓



KADOKAWA

自分は「共感」したら、メモをとるのですが、

この本はメモすることが多すぎて本が

スムーズに読めません。(笑)

その中の1つをどうぞ！

人に何かする時は「その人のため」ではなく、

「その人の喜んだ顔がみたいという自分のため」

と思うようにしている！

なるほど！いただき！(笑)

こんなおすすめ本です！

小松崎 保 さん

おすすめ！

『サクラ咲け ：優しき先生への道』 喜多川 泰 著



「最高の先生になるため」のバイブル本です！

「スーパー」です。(笑)この本に出会ってください。

読まなかったら…大変なことになりますよ！(笑)

小山 裕之 さん

おすすめ！

『心に響く小さな5つの物語』

藤尾 秀昭 文 , 片岡 鶴太郎 画



まさに心に響く内容です。

時間や場所、おかれている環境について考え、

よりよい人生を送りましょう。

齋藤 千恵 先生

おすすめ！

『骨灰』

冲方 丁 著



新時代のホラーということで評判の一冊。
直木賞候補作。

高原 幸子 先生

おすすめ！

『菜食主義者』

ハン・ガン 著



日々の家族のやりとりのなか、深層に家父長制があり、
その痛みのために肉を食べなくなった女性をめぐる物語。
映像的な性愛描写、その後、植物になっていく女性の
換喩的な意味が圧巻です。

高原 幸子 先生

おすすめ！

『ミス・サンシャイン』

吉田 修一 著



80代の映画女優と20代の大学院生の
恋愛の話。背後には長崎の被爆者への
差別が横たわる。

高原 幸子 先生

おすすめ！

『ババヤガの夜』

王谷 晶 著



暴力のなかで女が生きていく生き方が
描かれている。フィクションは時に現実を
救うという事実を示している。

辰島 裕美 先生

おすすめ！

『汝、星のごとく』

風良 ゆう 著



人生は思い通りにいかないけれど、
何か「大いなる意志のもとに仕組まれている」
と思えるような不思議なストーリーは、
爽快感がある！…と思う！

辰島 裕美 先生

おすすめ！

『LIFE UNIVERSITY もし大学教授がよい人生を教えたら』

ブルース・フッド著；櫻井祐子訳



幸せになるための行動の一つ、
この本を読むこと！

田中 健太郎 さん
おすすめ！

『舟を編む』 三浦しをん 著



今年、NHKでドラマが放映されました。

ファッション雑誌編集部から、辞書編纂部に移籍された
若い女性が、個性的な仲間たちと仕事をしながら、
辞書作りの面白さ、奥深さに目覚めていく。

原作もぜひ読んでください。

同著者の、人形浄瑠璃の演者を目指す若者を描いた
『仏果を得ず』(双葉文庫)、
林業に取材した『神去なあなあ日常』(徳間書店)
も併せてお勧め。

後者は映画「WOOD JOB!」の原作です。

全部、図書館にあります。

田中 富士美 先生

おすすめ！

『オリエント急行の殺人』

アガサ・クリスティー 著
山本 やよい 訳



クリスティーの名作中の名作ですが、
あえてこれをおすすめします。

名探偵ポアロの登場するシリーズの中でも
ポアロが最後の事件解決に最も悲しみを
見せるものです。

19世紀末のイギリスの裕福な家庭で
クリスティーは正規の学校には行かずに
母親からの教育と読書で文才を積んで
いきますが、この豊かな感受性と、
想像力には圧倒されます。

田中 富士美 先生

おすすめ！

『定本想像の共同体』

ベネディクト・アンダーソン著
白石隆, 白石さや訳



政治学者アンダーソンは本書で、
「国民」とは人々の想像によって形づくられた
「想像の共同体」であり、国家の権力が
領土全体に均等に及んでいるというイメージが
共有されているものと説明します。

ナショナリズムが18世紀ヨーロッパから
世界的制度へと広がる過程を多角的に見つつ、
それが現在の世界の動きとも重なり、
人が何をよりどころに共同体を築くのか
という問いを投げかける一冊であると思います。

辻 建一 先生

おすすめ！

『てのひらの闇』

藤原 伊織 著

予 約↓



直木賞受賞作の『テロリストのパラソル』で有名な
作者の小説で、ハードボイルド&ミステリーですが、
電通マンだった作者の経験が生かされた
企業小説としても読める秀作です。

中原 聖乃 先生

おすすめ！

『手の倫理』

伊藤 亜紗 著



さわりさわられること

—触覚によってさまざまに生み出される関係性。

さわる時には、、、覚悟してさわるべし。

中原 聖乃 先生

おすすめ！

『北越雪譜』

鈴木牧之 編撰, 京山人百樹刪定, 岡田武松校訂



江戸中期に越後塩沢の豪商に生まれた著者が描く
雪国の暮らし。日々の暮らし、多くの苦難、春の訪れ、、、
哀しくもいとおいしい物語り。いまでいう、ネイティブ人類学者。
江戸時代にベストセラーになるまでの顛末は興味深い。

中原 聖乃 先生

おすすめ！

『裏庭のまぼろし』

石井 美保 著



親族が戦場から送った手紙を偶然手にした
著者が、自身と家族の第二次世界大戦との
つながりを徹底的に調べつくして、詩のような美しい文章
で読む人に届けられる。戦後80年のいま、ぜひ。

中村 明 先生

おすすめ！

『メトロポリタン美術館と警備員の私
：世界中の「美」が集まるこの場所で』
パトリック・ブリングリー 著，山田美明 訳



心の平穏が保てる仕事に就くこと、
人をよく観察し美術品を鑑賞すること、
家族を大切に思うことの大事さがわかります。

西村 貴之 先生

おすすめ！

『熟達論』
為末大 著



今のAI時代に「人間にしかできないこと」を
じっくり考えるきっかけになると思います。

松本 大貴 先生

おすすめ！

『人間そっくり』

安部 公房 著



ラジオ番組《こんにちは火星人》の脚本家の
ところに、自らを火星人と名乗る男がやってくる。

変転しつづけるのに、なぜか奇妙な説得力を
持つ男の弁舌が、読み手という存在そのものを
不安定に揺らす。

そうして読み手の心に、強烈な革命の契機となる
余白をもたらす。

小学生の頃の私に、今なお生きつづける強烈な
インパクトを残した、天才による日本最古の
長編SF小説の1つです。

松本 大貴 先生

おすすめ！

『愛はさだめ、さだめは死』

ジェイムズ・ティプトリー・ジュニア 著
伊藤典夫, 浅倉久志 訳



長年その正体が謎に包まれていた
SF作家、James Tiptree Jr.。

その正体は、「男らしい文体」という女性蔑視的発想と
「フェミニズム文学は女性にしかできない」という
閉鎖的態度の双方を、自らの非凡な芸術的表現
そのもので美しく破壊する、大天才女性作家でした。

彼女の小説は、無機質なSFでありながらも、随所に
社会の因習への問題提起が散りばめられています。

本作に収録されている短編小説の中だと、
「接続された女」が特に気に入っています。翻訳者の
浅倉さんは、SF文学翻訳界で最も信頼のおける方の
一人ですので、原著でなくとも十分楽しめます。

本康 宏史 先生

おすすめ！

『内灘闘争のカルチュラル・スタディーズ』 稲垣 健志 編著，本康 宏史 ほか著

内灘闘争の
カルチュラル・
スタディーズ

アメリカ軍基地をめぐる風と砂の記憶

稲垣健志

本康宏史

予約↓



内灘闘争は、石川県で起こった米軍基地反対運動。
日米関係を地域の視点で理解する格好の素材です。
しかも、本書は「ウチナダ」の記憶をアート、カルチャー
の視点で考察したユニークな試みです。

柳田 英之 さん

おすすめ！

『それでも前を向く』

宮市 亮 著



タイトルで内容が全部わかるという
衝撃の著書である。

山田 範子 先生

おすすめ！

『学術書を読む』

鈴木 哲也 著



自分の専門だけでなく、専門外の学術書を
読む意義と方法を教えてくれる一冊です。
教養と知識の幅を広げてみませんか。
専門外の本こそ、あなたを成長させて
くれると思います！

M・K さん おすすめ！

『宙わたる教室』

伊与原 新 著



定時制高校科学部の実話をもとにした胸が
熱くなる作品です。

青少年読書感想文全国コンクール課題図書です。
学生も大人も読めます。

M・K さん おすすめ！

『極楽征夷大將軍』

垣根 涼介著



近年脚光を浴びている？南北朝時代の
歴史ものですが、笑えて泣ける作品でもあります。
これを機に歴史に興味がわくかもしれません。

M・K さん おすすめ！

『君たちに明日はない』
(シリーズ5作)

垣根 涼介 著



古い作品ですが、現代にも通じる
各種業界の裏側がわかる作品です。